



みんなの想いが、ひとつの「かたち」に。



7月号

発行所／福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人／鬼頭 良典
編集／広報委員会

県P連ホームページアドレス
<https://fukuokaken-pta.jp>

令和
8年度

PTA役員研修会 開催

単位PTAの活動に役員や教職員として関わる皆さんを対象に、PTA活動を楽しく有意義なものにしていくためのさまざまな学びを提供する「PTA役員研修会」。令和8年度は、4月26日、イヅカコスモスコモンおよびイヅカコミュニティセンターにて開催されました。

全体会

「ありがとう」の 分母を増やす

全体会では、長野県PTA連合会会長の城村義人氏が「先生方の思いとわたしたちにできること」と題して講演しました。

PTA会長や福祉事業所代表、牧師など、さまざまな立場で人に寄り添ってきた城村氏は、地域共生のリーダーとして活動しています。担い手不足や負担の偏りなど、多くの課題を抱える現在のPTAについて

「PTA活動は義務ではなく、保護者として学校に関わる権利。だからこそ、自分たちのことを自分たちで議論し、決めていけるPTAを目指すことが大切」と語りました。

また、教員のストレスの多くが「事務業務の多さ」と「保護者対応」にあったという長野県の調査データを紹介。その課題解決に向けた取り組みとして、



「自立」とは、自分が愛され、大切に思われていることを知り、その温かい愛の上に自分の足で立つこと。

「ありがとう」の分母を増やす。テーマにした「先生ありがとうメッセージコンクール」を実施。保護者や子どもたちから先生へ感謝のメッセージを届けることで、学校と家庭の間に深い信頼関係が生まれたそうです。城村氏はこの取り組みを直接、長野県知事にプレゼンテーションし、コンクールの入賞作品には長野県知事賞、長野県教育委員会賞も授与されました。

「愛されているから 不登校になれた」

5人の子どものをもつ城村氏。うち3人が不登校を経験し、親子で深く悩む時期が続いたそうです。救われたのは娘さんの「愛されているから不登校になれたんだよ」という言葉。そこから子どもの気持ちに寄り添う大切さに気付いたと語る城村氏の姿に、涙ぐむ参加者も見られました。

先生方の思いを理解し、保護者と学校が子どもたちのための、共同パートナーとして支え合うことの大切さを改めて感じる講演となりました。



7月号 もくじ

1面▶▶▶

PTA役員研修会レポート

2面▶▶▶

子育て研修会・
“新”家庭教育宣言実践報告会・
子ども体験学習事業レポート

3面▶▶▶

令和7年度 感謝状・表彰状授与者／
第41回定期総会報告／
会長・副会長紹介／年間行事予定

4-5面▶▶▶

単Pが主役！PTA通信

6-7面▶▶▶

広報紙コンクール結果発表／
キラリ★オンリーワンP／
学ビバ!! FUKUOKA連絡協議会 座談会レポート／
県教委通信

8面▶▶▶

食べるってなに／
科学館「夢特急」

第4分科会

◎SNSトラブル対応
株式会社伝えるを考える
置鮎正則氏による講演

「子どもたちへのスマホ/SNS指導の考え方」という題材で講演していただきました。私たちの知らないネットの世界、SNSの怖いところだけではなく、いい活用法など、さまざまなお話を時間いっぱいしていただき、講演後もたくさんの方が質問に何うような、とても素晴らしい研修会になりました。

(R7 家庭教育委員長 永利 健)



第2分科会

◎プロを囲んで聞いてみよう
～プロの視点で学ぶ、伝わる広報のつくり方～
西日本新聞社 益田孝氏による講演
／グループディスカッション

13名が参加し、西日本新聞社の益田氏から「読まれる紙面」の秘訣(記事・見出し・写真)を学びました。広報紙づくり初心者にも分かりやすく、現役の方にみえのある講義内容でした。現状の課題共有から、プロの直接指導を経て、明日からの広報活動が楽しくなるような実践的で有意義なひとときとなりました。

(R7 広報委員長 橋爪大輔)



第5分科会

◎PTAの可能性

三瀬郡大木町立大溝小学校PTA会長
古賀國弘氏による実践発表

PTA活動は「役員が大変」「忙しい」というイメージがありましたが、実践発表を聞き、PTAには子どもたちの成長を支え、学校・家庭・地域をつなぐ大きな力があることを改めて感じました。特に、保護者同士が協力し合い、できる人ができる形で関わることによって活動の幅や可能性が広がるというお話が印象に残りました。

(R7 研修副委員長 今永 光)



第3分科会

◎魅力的なPTAを目指して

福岡県PTA連合会 元会長 西村澄子氏による
講演／グループディスカッション

西村澄子氏に講演いただき、4人グループでディスカッションを行いました。円形の段ボール「えんたくん(※1)」を使ってお互いの意見を書き合いながら他校の活動なども知ることができました。これからの単Pでの活動に役立つような意見を聞くことができたという感想もあり、いい研修会になりました。

えんたくん
(R7 安全調査委員長 藤吉央喜)

※1:円形のダンボールを参加者がひざの上に置き、支え合いながら対話やアイデア出しを行うワークショップ用ツール。



分科会

学びと交流を
深めた

5つの 分科会

第1分科会

◎防災について

近隣自治体の防災担当職員及び教育委員会
担当職員を招いて／グループディスカッション

ハザードマップを用いたグループディスカッションでは、被災の経験がある参加者のリアルな声や、学校・行政の現場対応の実態など、さまざまな視点から私たちにできることについて意見を交わしました。参加者からは、単Pでも実施してみたいとの声

が上がり、子どもたちの安全につながる有意義な研修会となりました。(R7 総務委員長 小柳 翔太)



令和
7年度

子育て研修会

～“新”家庭教育宣言
実践報告会～

2月23日、大野城まどかぴあにて令和7年度の子育て研修会が開催されました。今回は“新”家庭教育宣言実践報告会もあわせて開催。また、同施設内にて小・中学生を対象とした「子ども体験学習事業」も同時開催されました。

“新”家庭教育宣言実践報告会

家庭での子育て力向上を目指し、平成17年度から始まった“新”家庭教育宣言実践報告会。3校が実践発表を行い、多くの学びを共有できました。

●米づくり体験 ～もちつき集会

「みんなで育てて、みんなでいただく
～学校、家庭、地域ぐるみで食を考える～」



太宰府市立
水城西小学校PTA

●地域とともに育む、子どもたちの笑顔
～ふるさと大莞まつりでのPTAの挑戦～

大木町立
大莞小学校父母教師の会

●「家読」で家庭の教育力向上!

～本を通した親子の対話で子どもの世界を広げよう～



みやこ町立
伊良原小学校PTA・
伊良原中学校PTA

◆基調講演と実践発表の動画配信中!

パスワード:manabi



「褒める」より
「認める」ことで
子どもの自己肯定感が
育ちます!

講演する黒川氏。ミラノ・コルティナオリンピックで「りくりゅう」ペアが金メダルを獲得できた秘訣など、脳科学に基づいて分析したさまざまなお話は、興味深いものばかりでした。

講演する黒川氏。ミラノ・コルティナオリンピックで「りくりゅう」ペアが金メダルを獲得できた秘訣など、脳科学に基づいて分析したさまざまなお話は、興味深いものばかりでした。

子育て研修会の基調講演では、『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズの著者としても知られる人工知能研究者・黒川伊保子氏を講師に迎え、「対話のトリセツ」家族をつなぐことば、脳を育むことば」をテーマに講演

親の笑顔が子どもの居場所をつくる

していただきました。

黒川氏はAI開発エンジニアとして人工知能研究に携わってきた経験から、男女の脳の使い方の違いや、子どもの脳の発達について解説。「自分がイライラしている」と相手の脳にもイライラの信号が

のぼり旗原画

入賞者の表彰式も行われました



写真左から、最優秀賞に輝いた筑後中1年・野村紗由さん、優秀賞を受賞した伊良原中3年・門野帆乃香さん（代理で校長先生が出席）、三並小6年・内藤仁菜さん、鬼頭県P会長。 ※令和7年3月時点の学年

同時開催

子ども体験学習事業
木育講座

保護者がPTA活動の実践報告、黒川先生の講演に耳を傾けている間――

同会場の別フロアでは、子ども体験学習事業「MOKUMOCO（モクモコ）」さんによる木育講座に、子どもたちだけで挑戦していました。保護者と離れ、少し不安そうな下級生や、友だちと元気に集まる上級生など、さまざまな表情でスタート!

MOKUMOCOさんからの
Message

日常の暮らしの中には多くの木が使われています。ご家庭で「これも木だね」と話題にしたり、近くの森や山へ出かけたりしながら、親子で自然について考えるきっかけにしたいだけばうれしいです。木や森は、私たちの暮らしを支えてくれる大切な存在。これからも自然を大切にしながら、さまざまなことに興味をもって学んでいくことを、皆さんに促したいと思います。



「木を知って、木に触れて、木でつくる」をモットーとし、福岡県内で木育講座やものづくりワークショップを行っている団体です。子どもから大人まで、木や森林の魅力を楽しみながら学ぶ体験活動を行っています。



Instagram



YouTube



MOKUMOCO

前半は、体験学習。「いいにおい!」「この木は何?」と、木に触れた瞬間から興味津々。顕微鏡で観察したり、クイズで学んだり、子どもたちの目はキラキラと輝いていました。

後半はものづくり。小学生はビー玉迷路、中学生は木製スピンカーに挑戦。小学生はオリジナリティあふれる迷路づくり、中学生は丁寧に木材の性質を肌で感じ取りながら、それぞれ夢中で取り組む姿が印象的でした。

最後に、MOKUMOCOさんからは、「皆さん一人ひとりが木のように育ち、今日の学びを広げて森に送りたい」とのメッセージが送られました。福岡から緑あふれる未来が広がっていくことを感じる、心温まる一日となりました。



森や木のおかげで、僕たちも生きてるんだなあと考えた。海も山もみんなつながっていて驚きました!



接着剤を
きれいに
塗って...



PTA活動へのご尽力ありがとうございます。



令和7年度のPTA活動で、感謝状や表彰状を受けられた皆さんは次のとおりです。(敬称略)

■福岡県教育委員会から感謝状を受けた個人

副会長…矢野 愛、瀬戸洋之、佐藤辰二、西木戸 聡、宇留島幸紀、長谷山健二
理事…中山真一、永利 健、藤吉央喜、橋爪大輔、今永 光、川野寛明、村岡智弘、中嶋ゆかり、杉野彰子、吉村純子、塚本成光 監事…服部広隆、星野美由紀

■県Pから感謝状を受けた団体 (ブロックPTA研修会実施連合会)

福岡ブロック 糸島市PTA連合会、北筑後ブロック 小郡市・三井郡小中学校PTA連絡協議会、南筑後ブロック 八女市PTA連合会、北九州ブロック 直方市PTA連合会、筑豊ブロック 田川市PTA連合会、京築ブロック 豊前市PTA連合会

■県Pから表彰状を受けた個人並びに団体

<個人> (単位PTA会長3年以上、又は区市郡P連会長2年以上、あるいは母親代表2年以上で退任の方)

◎福岡ブロック

宗像区…吉武小 末永史江、赤間西小 高畑真希子、大島学園 上野悦子、玄海小 七田理恵、南郷小 宮崎昌也、中央中 内田忠治、日の里中 藤川聖、福岡中 久保貴弘、福岡東中 小山典秀 糟屋区…須恵第二小 大西喜仁、花見小 船津喜久男 筑紫区…須玖小 平田真崇、春日南小 中村洋志、二日市東小 森部陽子、二日市北小 徳永康弘、山家小 荒瀬齊志、月の浦小 吉田賢太、国分小 高松美由紀、太宰府東小 疋田和久、安德小 服部広隆、片縄小 吉村直隆、安德南小 金納正善、春日野中 金堂義宰、御陵中 三木聖隆、大野東中 西岡昭彦 糸島市…南風小 郷原真一

◎北筑後ブロック

朝倉市…杷木小 小嶋洋志 小郡三井区…三国中 清原龍彦 久留米市…鳥飼小 中村博俊、日吉小 長郷国久、南小 森山幸嗣、宮ノ陣中 吉村亮平、牟田山中 山浦和敏、城島中 元根圭介、久留米特別支援 東 巧

◎南筑後ブロック

三潁郡…大溝小 中島伸吾、筑後市…筑後南小 宮原章史 柳川市…昭代第二小 妻夫木清博、蒲池中 中村伸也 大牟田市…明治小 長尾一也、三池小 齋藤 敬、みなと小 柿原 真、大牟田特別支援 川野優雅 みやま市…瀬高中 小柳翔太

◎北九州ブロック

遠賀郡…伊左座小 中西慶蔵 直方市…直方西小 松莊礼誠、中泉小 大和武

志、新入小 大谷仙覚、上頓野小 田鶴原いづみ、直方第三中 安永幸代、植木中 大西貴久

◎筑豊ブロック

田川郡…赤小 荒川竜徳、弁城小 香月勇一、川崎中 行武太一 田川市…大浦小 四本直良、金川小 宇留島幸紀、田川西中 吉柳雄太 飯塚市…立岩小 吉田敏浩、伊岐須小 三明直子、幸袋校小学部 清原一樹、高田小 力丸耕一、上穂波小 眞次洋平、飯塚第二中 山根優一、二瀬中 上田岳義、幸袋校中学部 藤井俊文、潁田校中学部 沖野光一郎

◎京築ブロック

京都郡…伊良原小 村上純子、苅田小 紅林孝治、勝山中 福森太一郎 豊前市…角田中 門田慎一郎

<同> (各ブロックP連の推薦による)

◎福岡ブロック…糸島市 前原東中 瀬戸洋之 ◎北筑後ブロック…三井郡 本郷小 佐藤辰二 ◎南筑後ブロック…八女市 みさき学園 西木戸 聡 ◎北九州ブロック…直方市 直方西小 松莊礼誠 ◎筑豊ブロック…田川市 金川小 宇留島幸紀 ◎京築ブロック…豊前市 合岩中 長谷山健二

<団体> (各区・市・郡P連の推薦による)

大刀洗町立本郷小学校父母教師会、久留米市立高牟礼中学校PTA、うきは市立福富小学校父母教師会、大木町立大溝小学校父母教師会、大川市立宮前小学校父母教師会、柳川市立藤吉小学校育友会、水巻町立埴末小学校PTA

■九州ブロックPTA協議会 きらりと輝く九州人大賞

<大賞>行橋市立行橋北小学校PTA推薦 池田あつ子

<九州ブロック協議会会長賞>糸島市立南風小学校PTA推薦 成富佳代子

■県Pから感謝状を受けた個人 (会長・副会長・理事・監事・委員の退任者)

副会長…矢野 愛、瀬戸洋之、佐藤辰二、西木戸 聡、宇留島幸紀、長谷山健二
理事…中山真一、永利 健、藤吉央喜、橋爪大輔、今永 光、川野寛明、村岡智弘、中嶋ゆかり、杉野彰子、吉村純子、塚本成光 監事…服部広隆、星野美由紀
委員…友野奈未、大里 健、宮下貴光、猿渡和則、木下光敏、中村祐介、中島伸吾、佐藤健子、毛利幸子、古川志乃、竹本幸司、宮崎秀明、山口知代、宮下優佳、西河佐江子、日下部達矢、上原誠司、藤川 聖、大和武志、永原文憲、横山千加子、岩本広輝、長沼嘉剛、川口修治、森山真実、永井かほる、江上修二、林隆志

令和8年度 県P 年間行事予定

月日	行事	参加者
6月7日(日)	福岡県PTA連合会第41回 定期総会	単位PTA会長他
6月7日(日)	委員総会	(県P)副会長・理事・委員・監事
8月21・22日(金・土)	日本PTA全国研究大会 奈良大会	会員
9月	陳情書手交式	(県P)副会長・総務委員長・総務副委員長
10月24・25日(土・日)	日本PTA九州ブロック研究大会 宮崎大会	会員
10月～11月	【市・町・村】代表者会議	区市郡町村・ブロックP代表者・(県P)副会長・理事・監事
10月～12月	PTA学校給食教室	
11月～1月	まなびのひろば ブロック研修会	会員
11月21日(土)	学ビバ!!FUKUOKA2026 北九州市大会	会員
令和9年1月30日(土)	スポーツ交流会	会員
2月11日(祝)	子育て研修会～“新”家庭教育宣言実践報告会～子ども体験学習事業	会員

福岡県PTA連合会 第41回 定期総会 開催

令和8年度の活動がスタート!

6月7日、福岡県PTA連合会(県P)第41回定期総会が福岡リーセントホテルにて開催されました。令和8年度の活動方針は、一昨年度・昨年度に引き続き「今を見つめ、共に創る」をテーマに、持続可能なPTA活動をめざして。開会にあたり、鬼頭良典会長は、乳児にまつた話しかけることなべく育てたらどうなったか?という中世ヨーロッパの逸話を例にコミュニケーションの必要性を訴え、「ふれあい、つながりを大切に大人の学びを深め、子どもたちの笑顔をつくっていきましょう」と呼びかけました。議事では令和7年度の事業報告や決算報告、役員選出も行われ、承認されました。質疑応答では、「規約をHPに全文掲載してほしい」との要望や、日Pとの関係についての質問が上がり、意見交換がなされました。



鬼頭会長(中央)と、令和8年度の副会長12名 <古賀理沙(黒木中)、三木聖隆(御笠の森小)、郷原真一(前原中)、下原仁美(高取小)、松莊礼誠(直方第三中)、藤原健太郎(泉小)、安藤秀信(日の里西小)、堤 雅弘(犬塚小)、小柳翔太(みやま中)、松岡史倫(宮田北小)、中國元親(桂川東小)、吉武 剛(犀川中)>※敬称略

主役！// 通信



北九州 協力・感謝でつながる共育

水巻町立頃末小学校



頃末小学校では、PTAと地域が協力し、毎年11月に子ども祭りを開催しています。令和7年度は、子どもたちと共に創ってこうと、計画から共に話し合う場を設けて、子どもたちの意見を取り入れていきました。

前日の準備では、6年生の子どもたちと一緒に各遊びのブースの準備や役割分担をし、当日は、高学年の子どもたちが主体となって運営する場を設定しました。地域の方やPTAも一緒にお手伝いしながら、全学年の子どもたちが楽しんでもらえる喜び、一緒に楽しむ喜びを共に感じながら、お祭りは大盛況でした。

お祭りの後は、全学年の子どもたちが、感謝集会を開き、PTAをはじめ、お手伝いをしてくれた地域の方々などに、楽しかった感想や、感謝の気持ちを伝えてくれました。

た。みんなでつくり、運営し、感謝を伝える…そんな温かい交流があるからこそ、また楽しい活動を一緒に創っていくPTA活動にしていきたいと考えています。

(頃末小PTA会長 岩本遼太)



お祭りの後の感謝集会の様子

京 筑 つなぐよボール つながる心

みやこ町立諫山小学校



諫山小学校は、みやこ町にあり、豊かな自然に囲まれた地域にある全校児童33名の小規模校です。みやこ町では、年に1度町内の小中学校対抗のPTAソフトバレーボール大会を行っています。9人で1チームを構成し、1つのボールをつなぐためにおのずと掛け合う声もうまれ、無邪気になれる大会です。しかし、諫山小学校では、ここ数年、人数不足により辞退していました。今年こ

そは出場したいと思い、日頃よりお世話になっている他校のPTAの方々に相談したところ、9人制を6人制に変更して行う提案をいただき、他校の承諾と本校PTAや先生方の協力を得て、見事出場が叶いました。そして、迎えた当日、普段交流のない他校の人たちとも話すことができ、大いに盛り上がりました。みんなの気持ちがつながり、試合の結果より大会に出場できたという事実の方が大きな意味をもつ大会となりました。これからも保護者、地域がつながり、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

(諫山小PTA会長 森下貴夫)



ボールをつなぐ選手たち



大会に出場した諫山小メンバー



表彰式の様子

筑 豊

「地域とともに」上山田小PTA

嘉麻市立上山田小学校



本校は、福岡県嘉麻市にある自然豊かな環境に囲まれた学校です。周囲には校歌にも出てくる小富士や山田川が広がり、四季折々の自然を身近に感じながら子どもたちがのびのびと学んでいます。地域の方々とつながりも深く、学校行事や体験活動などを通して、地域とともに子どもたちを育てる温かい教育が行われています。

春から夏にかけて、3・4年生では、学校の周りの梅の実を収穫し、梅干しづくりに

取り組んだり、5・6年生は、地域のお祭りで使う竹灯籠づくりを行ったりしています。秋には学校・地域・PTAが連携して「山田川クリーン作戦」が行われています。年々、

児童数は減っていますが、PTAと地域が一緒になって、今後も子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

(上山田小PTA会長 友松竜治)



地域のひとと竹灯籠づくり



地域のひとと梅干しづくり



山田川クリーン作戦

福岡

地域と歩む勝浦小 PTA

福津市立勝浦小学校



勝浦小PTAは、山と海に囲まれた自然豊かな環境のもと、小規模校ならではのつながりを生かし、顔の見える関係性を基盤に、地域・学校・保護者が一体となって取り組む、特色ある活動が大きな魅力です。中でも古くから勝浦に伝わる「獅子楽」や「人形浄瑠璃」の活動では、地域の方々の指導を受けながら子どもたちが伝統文化に親

しんでいます。

また、米作りでの田植えや稲刈り、大豆栽培・収穫からの味噌作り等の体験を通して、食や自然への理解を深めています。

PTA・学校・地域が協力して開催する「マル勝まつり」や、地域の方も参加する「勝浦大運動会」など、多様な行事にも積極的にに関わり、世代を超えた交流が生まれています。

子どもたちとともに学び合い、地域ぐるみで成長を支えるPTA活動を目指しています。

(勝浦小PTA会長 中山真一)



「獅子楽」のお囃子と獅子舞



「勝浦人形浄瑠璃」の様子



「勝浦大運動会」

北筑後

みんなで見守る PTA

朝倉市立立石小学校



立石小PTAは、キャッチフレーズを「まず参加、みんなで見守ろう立石の子」として、学校や地域の行事に積極的に参加しています。子どもたちが、きれいな環境で学校生活を送ることができるように、夏休みの期間中にPTA奉仕作業として、校舎周りの草取りや溝に堆積した泥の撤去、各教室のエアコンの清掃などを行っています。

また、地域のコミュニティ主催の体育祭にも積極的に参加し、大人から子どもまでみんなで

綱引きや大縄跳びなどに参加して、楽しみながら交流を深めています。

さらに、5年生の総合的な学習では、米作り体験として地域の方のサポートをいただきながら、保護者も一緒に田植えや稲刈りを行っています。今後も、学校と家庭・地域が連携しながら、子どもたちの健全育成に尽力していきます。

(R7 立石小PTA会長 廻慶哉)



PTA奉仕作業



体育祭



稲刈り

南筑後

学校・家庭・地域のつながり

柳川市立ニッ河小学校



ニッ河小学校では、毎年恒例の行事として「エコ風船飛ばし(※)」を行っています。この行事は、地域の皆さまの温かいご協力のもと開催されており、学校・家庭・地域がつながる大切な機会となっています。

エコ風船には、「柳川市やニッ河校区の魅力」を伝えるメッセージを書き添えています。当日は、地域の方々とPTA役員が風船に子どもたちのメッセージをつけたり、風船を配布したりします。その後、校庭に

集まった全校児童が一斉に風船を空へ放ちます。色とりどりの風船が青空に広がり、ゆっくりと舞い上がっていく様子はとても美しく、子どもたちの歓声とともに心に残る光景となります。

このエコ風船飛ばしは、「子どもたちの笑顔のために」という地域の方々、PTAの

思いが詰まった行事です。今後もこのような地域との取り組みを大切にしながら、子どもたちの成長を地域全体で見守っていかれたらと思います。

(ニッ河小PTA会長 金子栄里佳)

※エコ風船飛ばし：通常のゴム風船ではなく、環境にやさしい素材で作られた風船を空に飛ばす行事。



風船を配布する様子



全校児童が校庭から風船を放ちます



青空に広がる色とりどりの風船

令和7年度は小学校13校・中学校12校から応募があり、クオリティーの高い力作揃いで審査員を悩ませました。今回より「広報委員会賞」も新設し、「PTA活動の紹介」「会員が関心をもつ内容」「地域との連帯感」などの観点から各賞が決定しました。受賞校の作品は日本PTA広報紙コンクールへ推薦されます。

西日本新聞社賞

講評：西日本新聞社 編集センター
中村 太郎 氏

児童の写真と、桜や映画フィルムなどのイラストを効果的に組み合わせた表紙が印象的。本編のレイアウトも、思わず手に取って読んでみたいと思わせる工夫が随所にこらされていました。新入生のために、危険箇所を分かりやすく示した校区安全マップを第1号に掲載したのも好企画でした。

●アピールポイント●

令和7年度は特にまちづくり協議会や地域の方との触れ合いの機会が多く、参加した子どもたちや保護者、地域の方の声を掲載。実際の雰囲気や想いが伝わるよう工夫しました。

大牟田市立白川小学校PTA 「しらかわ」



受賞校の皆さん、
おめでとう
ございます！

福岡県教育委員会賞

講評：福岡県教育庁 社会教育課

学校行事をはじめ、校長先生のPTA活動に対する思い、PTAの皆さまの生き生きとした活動の様子、そして子どもたちの輝く笑顔が紙面から鮮明に伝わりました。また、ベルマーク活動やバザーについての特集記事からPTA活動の意義が伝わり、まさにPTA新聞が「学校と家庭の架け橋」となる工夫が光りました。

●アピールポイント●

案出し、撮影、編集、校閲など作業分担することで効率よく作成できています。子どもたちはもちろんのこと、保護者、先生方、地域の方々の笑顔をたくさん掲載しました。

飯塚市立伊岐須小学校PTA 「IGISU news ～学校と家庭の架け橋に～」



第1号、第2号ではいずれも1ページ分を丸々使って地域のまちづくり団体の特集を組んでおり、「町ぐるみで子どもを見守り、育てられる地域づくりをしたい」とのPTAの方々の思いが良く伝わってきました。今後も地域と関わる過程で生徒が成長できる学校となるように、応援しています。

●アピールポイント●

特に地域との交流について取材し、制作しました。学校内の活動はもちろん、あまり知られていないPTA活動やボランティア活動にも興味をもていただけるように記事にしました。

大牟田市立松原中学校 父母教師会 「松原」



教室配置図や校時表などの「お役立ち情報」をはじめ、進路選択の参考となる高校訪問レポート、学校行事の特集記事、通学路の危険箇所マップ作成など、PTA新聞が学校・家庭・地域をつなぐ「情報発信のツール」となっています。活気のある学校の様子が伝わる写真などのレイアウトの工夫が光りました。

●アピールポイント●

生徒、保護者、先生にアンケートを実施して最小限の結果を掲載し、二次元コードを使って掲載記事を節約。職場インタビューで地域の企業や店舗、施設の記事も掲載しました。

久留米市立牟田山中学校 父母教師会 「牟田山中学校 PTA会報 牟田山」



学ビバ!! FUKUOKA 連絡協議会 座談会レポート

課題はPTAのアップデート。 変わる時代、変わらない想い

4月28日、福岡市内で、県P鬼頭良典会長、福岡市PTA協議会 榑淳英会長、(一社)北九州市PTA協議会 穴井秀和会長による座談会「UP!PTA!トライアングルミーティング」が行われました。話題はICT活用、地域との連携、そして未来のPTAの在り方へ。今の形や自分たちの組織運営に満足することなく、変わり続ける時代に寄り添いながら、「子どもたちにとって一番良い形とは何か」を問い続ける姿が印象的でした。

鬼頭会長からは、「PTAの課題は存在そのものではなく、時代に合わせた形にアッ

プデートできていなかったこと」という話も。大切にしてきた想いは残しながら、時代に合わせて形を変えていく。その一方で、「子どもたちのため」という想いは、どれだけ時代が変わっても変わらない。まさに、「変わる時代、変わらない想い」が、この座談会を通して感じられた大きなメッセージだったように思います。

中でも心に残ったのは、穴井会長の「重たいボタンではなく、「軽くてキラキラしたボタン」を次世代へ」という言葉。未来を担う人たちへの優しさと希望が込められた、印象的なひとことでした。そして、榑会長が語られた「知ることが未来のPTAの第一歩」という言葉の通り、各単位PTAの活動や組織運営への理解も深まる内容となりました。(副会長 三木聖隆)



左から鬼頭会長、榑会長、穴井会長

★後日動画で配信予定。紙面では伝えきれない空気感や、お三方の言葉に込められた想いをぜひ感じてみてください。



キラリ★オンリーワンP

今回のオンリーワンは… 那珂川市立那珂川中学校PTA

「みんなが動く組織」から「みんなで支える組織」へ

那珂川中PTAは、学校・地域・生徒・会員が協働する地域祭「e-Naフェスタ」などの活発な取り組みが評価され、令和7年度福岡県教育文化表彰(団体の部)を受賞しました。その背景にあったのは、3年間にわたるPTA改革。「みんなが動く組織」から「みんなで支える組織」へ——その実践に学ぼうと、令和7年11月13日、糸島市中学校PTA連合会が那珂川中で視察研修会を実施しました。

研修会では、令和4年度から会長として改革を牽引した岩重雅夫さんが登壇。委員会の再編や登録ボランティア制度、会議の効率化など、「できる人ができる範囲で関わる」組織へと転換した歩みを本音やユーモアたっぷりに紹介。このほか、働き方改革やコンプライアンス、IT活用など、専門知識をもつ発表者による多彩なテーマの講話も。マジックショーやベストドレッサー賞といったサプライズも飛び出し、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

最後に「PTAはPeople To Appreciate(感謝し合い、認め合う仲間たち)」と締めくくった岩重さん。参加者を笑顔にしたいという思いにあふれた研修会から、那珂川中PTAの活動そのものが楽しさと充実感に満ちていることが伝わってきました。



岩重さんを支えた仲間のトークも



本格的なマジックショー！



「PTA改革は制度の話ではなく、人の心の話」と語る岩重さん

広報委員会賞

講評：福岡県PTA連合会 広報委員

※広報委員会賞は、広報紙づくりに関わるより多くの方々に
スポットを当てたいという思いから令和7年度より新設した賞です。

見守り隊として活動されている地域の方々が紹介され、学校と地域とのつながりがよく伝わる紙面となっています。また、PTA活動についても子どもたちの様子と同じように丁寧に紹介されており、大変充実した素晴らしい内容です。

●アピールポイント●

校長先生とPTA会長のQ&Aの記事を作成し、人柄が見える紙面になるよう工夫しました。

かみひろかわ
広川町立上広川小学校
父母教師会
「しらかね」



優秀賞



糸島市立前原小学校PTA
「白雲（しらくも）」



糸島市立波多江小学校PTA
「Wave（ウェイブ）」
はたえ



大牟田市立宮原中学校
父母教師会
「みやのはら」



直方市立新入小学校
父母教師会
「新入小PTA新聞」

令和7年度 福岡県PTA連合会

第34回

広報紙コンクール
受賞校決定！

福岡県PTA連合会 会長賞

講評：福岡県PTA連合会
会長 鬼頭 良典

たくほう
大牟田市立宅峰中学校保護者教師会
「宅峰」



子どもたちの活動の様子と先生方や保護者の方々の想いが融合された広報紙だと感じました。特に、生徒会とPTAの意見交換をされており大変素晴らしいと思います。そのような取り組みを、広報紙で会員の皆さまにお伝えしていることは有意義であると思います。

●アピールポイント●

写真を多く使い、子どもたちの姿を伝えることを意識して制作しました。できるところから取材して、負担を減らすようにしました。

たいしょう
大牟田市立大正小学校父母教師会
「こんぱす」



役員の皆さまがどのような活動をしているかを伝えるために、「PTAのお仕事紹介」というコーナーで役員・委員さん方の取り組みを紹介していることが素晴らしいと思います。また、学校や地域と連携を深められていることが読み取れる大変興味深い広報紙でした。

●アピールポイント●

PTAの仕事内容が十分に伝わらないまま立候補しなければならない現状を変えるため、2号目以降はPTAのお仕事紹介、理事会の紹介にも力を入れました。

1人で悩まないで

福岡県いじめレスキューセンターのお知らせ

福岡県では、いじめの早期発見・解消を図り、重大化・長期化を防ぐため、学校外の立場で、いじめに悩む子どもや保護者からの相談を受け付けています。

☎ 092-645-2567

対象事案

- ・学校への相談を迷ういじめ
- ・学校への相談後、第三者による支援を希望するいじめ

対象者

県内の小・中・高等学校・高等専門学校に通う児童生徒とその保護者

開設日時

10時～18時
※土曜日・祝日および年末年始を除く

メールでの相談や面談の予約など、詳細はHPをご確認ください



HPはこちら

社会福祉士などの資格を有する
支援員が対応します

学校には相談したけど…

学校には相談しづらいなあ…



※センターは、民事・刑事上の責任追及、当事者である児童生徒への直接的な指導を行う役割は有していません。

いじめレスキューセンター以外にも、こどもの悩みに対応する相談窓口を設置しています。

詳しくはこちら

リアルな
体験の機会を大切に

県教委通信



体験活動の様子

変化の大きいこれからの社会では、こどもたちに、多様な人と関わりながら課題に取り組み力が求められています。一方で、デジタル化が進展する中、自然や他者と直接関わるリアルな体験の機会が減少しています。福岡県では、こどもの体験活動を推進しており、こうした体験活動の機会を大切にしています。

【福岡県立青少年教育施設】

<問い合わせ先>

- 社会教育総合センター
☎092-947-3511
- 英彦山青年の家
☎0947-85-0101
- 少年自然の家「玄海の家」
☎0940-62-2511

自分が自己肯定感、協調性、積極性といった非認知能力の育成につながるかとされています。福岡県立青少年教育施設では、仲間と協力しながら自然の中で活動するキャンプやプログラムを提供しており、日常とは異なる環境で試行錯誤する経験を大切にしています。こどもたちの豊かな成長の一助として、福岡県立青少年教育施設を御活用ください。



山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.132

食べるってなあに

生成AIと仲良くなって…



最近できました生成AIさんというお友達が、便利なことだらけありません。「プロフィール作って」「キャベツで作る簡単な料理教えて」「旅行に行くからルート考えて」などなど。情報を入れながら上手に質問さえすれば瞬時にほぼ完璧な答えが返ってきます。繰り返し同じようなことを聞いても面倒がったり怒ったりしません。

昭和22年生まれで80歳が近い団塊の世代、生まれた時はまだ電話や洗濯機、電気冷蔵庫、テレビやパソコン、携帯電話はもちろん家になく。成長するにつれどんどん新しい文明の道具が家の中に揃えられていって、その便利さに家族中が沸き立っていました。だからか、この年代、新しもの好きな人が多いのかもしれない。

最近親切が仇になるようなことが続き、心がささくれそうになってAIさんにアドバイスを求めました。「優しさは相手の反応で価値が決まるものではない」。なるほど少し心が落ち着きました。あれこれ聞き方を変えてみては、その美しく納得できる言葉に癒やされはしましたがなんだか少し…。

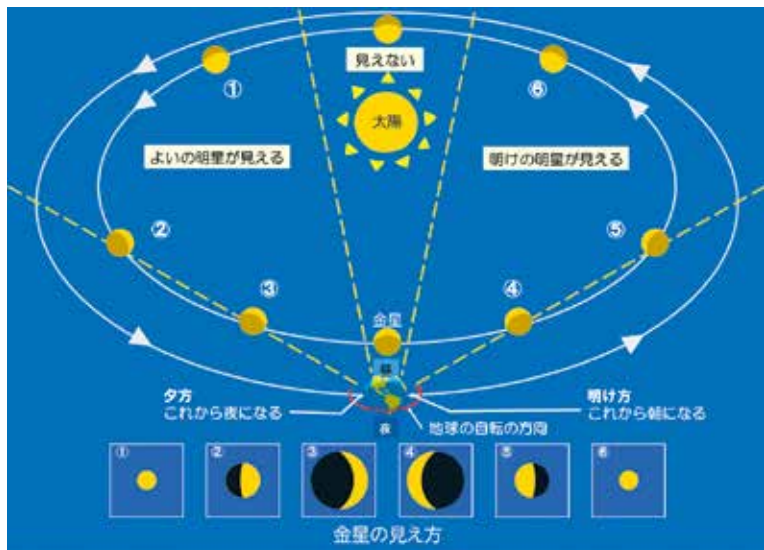
50年近く前、あるワークショップに参加した時のことを思い出しました。講師はなんと心理学者の河合隼雄先生。参加者のひとりが「地域に貢献しようとさまざまに取り組んでいるけど、周囲の反応も

薄く感謝もされない」と発言しました。先生は柔らかな関西弁で「あのなあ、親切というもんは相手にとって大抵の場合迷惑なもんや」と、その言葉は若かった私の心に深く沈みました。今も自分の親切が空回りした時などに取り出し、自分の心を覗き込むきっかけを作ってくれます。すぐに頷ける優しい言葉より、ゆっくりと自分を深めてくれる気がします。

また、これも数十年前のこと、健康も経済面も人間関係もすべてうまくいかない時期がありました。尊敬するお年寄りにうっかり愚痴ってしまつと、彼は笑いながらこれは迷信だからねと前置いて「髪は女のアースだよ、昔の人が髪を切らなかったのは長い髪に悲しみの涙を伝わせて土に戻していたからなんだ。山際さん、なぜショートカットなの」と、AIさんからはとても聞けそうもないアドバイス。私はそれから2年近く髪を切りませんでした。為す術もない状況の中で、ただ髪を切らないということだけで何かをしているという安心感が不思議に私を救ってくれたのです。AIに河合隼雄先生のつもりで、などと条件を示しても心にグサリと刺さるアドバイスはなかなかです。

AIさんが人間の知能を追い越すのは目前らしいですが、人間の心のややこしさは手強いよと思うのはお婆さんの先見性のなさでしょうか。

「夕方の空で一番明るい星を探してみよう！」



「先生」それは、きっと金星です。金星は「よいの明星」や「明けの明星」と呼ばれ、漢字を見て分かるように、とっても「明るい星」です。夜空では月の次に明るいんです。せつかく興味をもってくれたので、金星について説明しましょう。金星は太陽系の中で地球のおとなりにある惑星です。また、金星の大きさは地球と同じくらい。さらに、金星は厚い硫酸の雲に覆われていて、大気は主に二酸化炭素です。そのため、温室効果によって

最近太陽が沈んだ後、西の空にすぐく明るい星が見えていて気になっていきます。何という星ですか。

科学館発 夢特急

福岡県青少年科学館

★この記事に関する問い合わせ先
福岡県青少年科学館
福岡県久留米市東櫛原町1713
TEL 0942-37-5566
FAX 0942-37-3770

「先生」天体望遠鏡があれば夜に満ち欠けを観察できます。しかし、真夜中に金星を観察することはできません。金星は地球よりも内側で太陽の周りを回っていて、地球から見て金星はいつも太陽のすぐ近くにあります。そのため、金星は昼間の空に見えると言えますが、実際には太陽の光の方が強いので肉眼で見ることができません。だから、金星の観察は太陽が沈んだすぐ後か太陽のぼる直前がチャンスです。

「先生」金星は月と同じように太陽の光を反射して光っています。金星の厚い硫酸の雲が太陽の光をよくはね返すため、金星はとても明るく見えるのです。ちなみに、金星は月と同じように満ち欠けする様子を観察することができます。ただし、これは天体望遠鏡を使わないと難しいです。

厚い雲に覆われているのどうして明るく光るのですか？

気温が460℃にもなります。

「先生」金星は1年の間で「よいの明星が見える時期」、「明けの明星が見える時期」の3つがあります。今年の「よいの明星」は9月の下旬くらいまで、日没後30分～1時間の間、西の空で見つけることができます。「明けの明星」は11月上旬ごろから、日の出の30分～1時間前に、東の空で見つけることができます。ぜひ、ひととき明るく輝く金星を探してみてください。

よいの明星、明けの明星どちらも観察してみたいです。いつ観察できますか？

「PTA活動災害保障制度」のご紹介

(PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

福岡県PTA連合会の本制度では
PTA活動中の事故によるおケガや
法律上の損害賠償責任をカバーしています。

例えばこんな時にご相談ください！

- ・PTA主催の親子バレー大会で、参加したお母さんが転倒して負傷された…
- ・PTA活動の除草作業中に、草刈り機から石が飛んで近くに停まっていた車の窓ガラスが割れてしまった…

※保障制度の詳細については、制度取扱代理店にお問合せください。

◎ 制度に関する：制度取扱代理店 株式会社コーリン(福岡県PTA連合会 保障制度事務局)
お問合せ先：TEL：0120-228-553(受付時間：平日午前9時～午後5時)

◎ 制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社
D-008350(2027-03)